

令和5年第6回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日

令和5年4月25日（火）

II 会議時間

開会時間：15時30分

閉会時間：16時40分

III 出席委員

教育長 多田 一也

教育長職代理者 三宅 英次

委員 太宰 実千代

委員 二宮 崇

委員 横山 純子

IV 欠席委員

V 説明のため出席した職員

教育次長 小崎 隆

教育総務課長 琵琶 学

学校教育課主幹 海野 剛平

就学前教育課長 渡邊 まり子

社会教育課長 寶藏 光辰

（書記）清山 智保

VI 会議内容

1 開 会

2 前回会議録の承認

（1）令和5年第5回教育委員会会議（令和5年4月6日）の議決事項等について

教育長の報告：就任挨拶

議 事：議案第8号玉野市教育委員会事務局組織及び事務分掌規則の一部改正について 他6件

協 議：玉野市認定こども園に関する条例施行規則及び玉野市立保育所管理規則の一部を改正する規則について

報 告：適正規模・適正配置検討委員会第3回会議について 他1件

（承認）

3 教育長の報告 なし

4 議 事

(1) 議案第15号 玉野市教育情報セキュリティポリシー対策基準の策定について

(教育総務課長) 資料により説明

(三宅委員) 実効性のあるものにするために校長の研修等もするということが、学校現場はよくわからない人が多いと思う。教育委員会がしっかりフォローしないといけないと思う。

(教育総務課長) ボリュームもあり難しい部分もあるので、もっとかみ砕いた手順書で、校長や担当者にも説明していこうと考えている。

(2) 議案第16号 学校運営協議会委員の委嘱について

(学校教育課主幹) 資料により説明

(3) 議案第17号 玉野市部活動地域移行検討委員会設置要綱の制定について

(社会教育課長) 資料により説明

(太宰委員) 外部指導者の資質の懸念ということで、いろいろなことが起きてくると思う。指導者の方の設定の仕方であったりとか、いろいろなところで生徒や保護者に不利益が出ないように、検討委員会の方でも様々なことを想像しながら、子どもたちのために何が一番いいのかと考え、地域移行にしたことで、不利益を被ることがないように、検討してほしい。

(多田教育長) 地域移行については、全国の自治体の課題でもある。できるだけよい形になるよう要綱に従って進めていくと言うことで理解いただきたい。

(社会教育課長) お金の問題、場所の問題がある。もう一つ問題としてあるのが少子化である。他にも移動の問題、指導者の質の問題がある。委員のお願いをする方々には、場所もお願いし、講師もお願いする。学校の先生の兼職兼業もあるが、子どもたちに今までと遜色のないような指導ができるような体制は当然必要になると思う。具体的に検討していきたい。

(4) 議案第18号 玉野市公民館運営審議会委員の委嘱について

(社会教育課長) 資料により説明

(5) 議案第 19 号 玉野市立図書館協議会委員の任命について

(社会教育課長) 資料により説明

5 協 議

(1) 令和5年度教育委員懇談会実施計画(案)について

(太宰委員) ・中学校区一貫教育の取り組みの充実について

(三宅委員) ・健康教育(感染症予防について、学校保健全般に対する課題、学校体育の現状について)

(二宮委員) ・小中学校におけるキャリア教育現状と課題について

(横山委員) ・性教育の現状と問題点について

(多田教育長) 健康教育ということで、小中にスポットを当てて、養護教諭や関係する先生方に健康教育の内容を幅広くということにしたい。キャリア教育というキーワードで小学校、中学生も含めてキャリア教育を中心とするのはどうか。

(各委員) 了承

(2) 特別支援教育について

(三宅委員) 特別支援学級に在席している児童生徒について、文科省が交流学习は授業時数の半分以下にしろという通知があり、保護者や学校も戸惑っていることが問題になっている。交流学习の現状について教えてほしい。

(学校教育課主幹) 交流学习については、一律に何時間と決めているわけではない。ただ、適切な就学の間、学びの間というところ考えると、半分以上交流学习を行っている子どもが、果たして本当に特別支援学級で学ぶ必要があるかということになる。半分以上を通常学級で過ごせる子どもは、もしかしたら学びの間としては通常学級で学ぶ方が適切ではないか、という考え方ではないかと思う。また学びの間をどこにするかという観点で言うと、必要に応じて個別で支援が必要な子どもが、支援学級で学んでいるということである。交流学习では、個別で支援が必要な子どもが集団の中で身に付けることを学ぶということもあるが、通常学級と一緒に学ぶことで他の子どもへの教育効果ということもある。

6 報 告

(1) 令和5年3月定例市議会一般質問概要について

- (教育次長) 資料により説明
- (太宰委員) 給食センターで事故があったのはいつのことか。
- (教育次長) 事故があったのは2月のことだと思う。事務局は一般質問があつて初めて知った。その当時の所長に対して報告が遅いということで指導した。
- (太宰委員) この資料を読んでこの事故があったことを知った。請負災害ではあるが、教育委員会が委託しているところで、こういうことがあったというのは、情報として教育委員は知らなくてもいい話なのか。
- (教育次長) 委託している民間企業の社員の怪我である。事故ではない。全てを伝えることはできない。警察沙汰になるとか施設を破損したなどであれば報告する。
- (太宰委員) 程度の問題等もあるので全てを報告してくれというわけではないが、いつも何かあったら後から知らされる。新聞記事等で知るのではなく、メールでとりあえず報告、詳細は後日という形でいいのでお願いしたい。
- (三宅委員) 今回に関しては報告はなくていいと思うが、一番問題なのは、事故があつてそれを教育委員会に報告しなかったことだと思う。危機管理の観点からやはりきちんとしなくてはいけない。些細なことでも後日でいいので報告してもらえたらよいと思う。

(2) 玉野市内高等学校における入学者選抜実施状況について

- (学校教育課主幹) 資料により説明
- (三宅委員) 7名合格ということだが、事務局としてこの数字は評価しているか。初年度にしては結構多いと思う。個人的には成果があつたのではないかと感じた。
- (学校教育課主幹) 一般的な感じ方の答えにはなるが、親元を離れて玉野で学びの3年間を過ごす生徒がこれだけいるというのは、大きな取り組みだと感じている。
- (三宅委員) 定員割れの件については、商工高校の将来を心配する声もあり定員数についても考えていかななくてはいけないのではないかと。
- (教育長次長) 魅力づくりとよく言われるが、魅力づくりというのは難しい。魅力づくりを考えながら、定員についても検討はしている。
- (多田教育長) 全国募集については県内5年目ではないかと思う。県の適正規模が4クラスで、3クラスの学校は作らないと最初は言っていたが、今3クラスの学校が県内でおそらく11校ぐらいある。そういう学校に対して特色づくりの一つとして県外募集してもよい、ということでここまで来ている。7人というのは非常に多いと思う。

(3) 令和5年度 玉野市立保育園・認定こども園・幼稚園・小・中・高等学校 入園・
入学者の状況について

(就学前教育課長) 資料により説明

(学校教育課主幹) 資料により説明

(4) 高校への給食提供について

(学校教育課主幹) 給食センターの提供可能食数が3,900食に対して現在3,900食ほぼ目いっぱい稼働している。現状は、小中学校以外に提供できる余裕がない。高校へ給食を提供するには、どんな対応や検討が必要なのかを確認した。まず給食提供に関しては、食数の管理が必要になる。食材の発注を数か月前から行うため、希望制にすると食数の変動があり対応は難しい。当日の変更はできないため、前もっての注文や申し込み、どういった対応をするか検討をしていく必要がある。また、委託業者との契約上可能かどうか等の確認も必要になってくる。学校給食法は、高校には適用されない。自治体を実施するというのであれば、衛生面や、取り扱い等の詳細の様々な検討が必要になる。現状、食堂や売店がなく、全員弁当持参の状況なので、給食に限らず、いろいろな方法を考えて、生徒の昼食の充実を図る方法が他にあるならば、検討していきたい。

(二宮委員) 生徒数の減少で給食センターの5年後10年後を今から考えていかななくてはいけない。その一つとして商工高校の給食という提案をさせてもらった。給食センターの活用方法は今から少しずつ動いていった方がいいと思う。

7 その他

(1) 令和5年5月／6月の月間予定について

(教育総務課長) 資料により説明

次回、教育委員会定例会は令和5年5月9日(火)14:00から開催するので参集願う。
以上で、令和5年第6回教育委員会を閉会する。

会議録調整者 書記 清山 智保

会議録署名委員 教育長 多田 一也

教育長職務代理者 三宅 英次